



あら い ひとし
新井 均

持続的で安心・安全なごみ処理と
リサイクルのシステムをつくる

ごみ処理の展望と諸課題は

答弁 持続性と安全性が高いごみ処理を行う

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 太平洋セメント株式会社埼玉工場と連携したごみ処理の今後の展望は。

答 日高市と太平洋セメント株式会社埼玉工場間の協定期間は10年間で、5年を経過した時点で次の10年間で協議し締結している。別途、処理不能事態の協定も締結し、万々に備えている。一方、歳出予算で債務負担行為を設定している。

問 リチウム蓄電池がごみに混入した場合の安全対策や、ごみに混入させない回収の整備は。

答 リチウム蓄電池を適正回収するための仕組みを市民に提供するため早急に取り組む。また、引き続き適正なごみ出し方法を市民に周知する。

問 粗大ごみをリペアして再販するリサイクルについての現状と考えは。

答 民間業者と不用品リユース事業に関する協定を締結し、リユースプラットフォーム「おいくら」を通じて加盟店一括査定、買取価格の比較、引き取りを可能にした。今後も効果的施策を研究する。



市内でごみを回収するパッカー車



よ こ お た か ふ み
横尾 貴文

小・中・義務教育学校における社会
保障教育の現状と今後の取り組み

社会保障教育の重要性の考えは

答弁 将来の暮らしに密接で意義深く大切である

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 社会保障は市民それぞれの立場で関わり方が異なる。社会保障制度にアクセスするには利用しようとする方がそのサービスについて知らなくてはならない以上、義務教育における社会保障教育の重要性は大きいと考えるが、市の考えは。

答 国民の安心や生活の安定を支えるセーフティーネットとして、全ての人々の生活を生涯にわたって支える制度であり、子どもたちのこれからの将来の暮らしに深く関わるため義務教育で社会保障制度を学んでいくことは子どもたちにとって、とても意義があり大切である。

問 少子高齢化、地域コミュニティ、家族のスタイルなど社会情勢の変化を踏まえると、一人ひとりが生きる社会の中で社会保障制度の意義、社会のあり方を考えることが重要と考えるが、社会保障教育の現状と今後の取り組みは。

答 学習指導要領に基づき指導を行っており、子どもの発達段階に応じて、生活の中の支え合い・助け合いから始め、社会保障の役割や仕組みを段階的に学んでいる。税の意義も含め、体験的な学びを通じ理解を深め、市としては関係機関とも連携を図りつつ児童生徒の社会保障に関する意識を高めていきたいと考える。